



編集／東濃厚生病院広報委員会

理念

歩みいる者に
やすらぎを
去り行く人に
幸せを

私たちは地域の皆様に愛され、親しまれ、そして信頼される病院を目指します。

行動目標

1. 私たちは日々研鑽に励み、患者さんの立場にたった質の高い医療の提供に努めます。
2. 全職員が患者さんの窓口となり、真心と笑顔で患者さんに接します。
3. 患者さんの言葉を最後まで聴き、患者さんが理解できるよう分かりやすい言葉で説明します。



年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長

堀 尾 茂 之



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成二十七年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

我が国の医療を取り巻く環境は、昨年六月に施行された「医療・介護総合確保推進法」に基づき、今後の少子高齢化と人口減少など社会構造の変化に応じた、地域医療ビジョンの策定や地域包括ケアシステムの構築など、医療・介護の提供体制が大きく変革してまいります。国は、医療病床の機能分化・連携などによる医療の重点化と効率化を目指しており、人口減少の進

展とともに地方医療は極めて厳しい経営環境が予測され、今後の医療動向を見据えた早急な対応を迫られております。

こうしたなか、本会は、公的医療機関として、また、地域の基幹病院として、予防医療から救急医療、急性期医療さらには慢性期医療、在宅医療、緩和ケアに至る総合的な医療・保健事業を担い地域医療の充実に取り組んでおります。

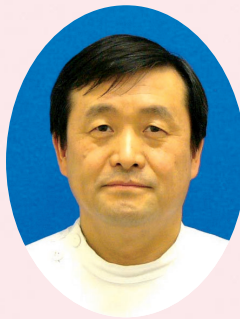
災害医療においても昨年九月に、中濃厚生病院に続き久美愛厚生病院が、医療救護活動の中心施設となる「災害拠点病院」と災害医療派遣チームを編成する岐阜DMATに指定されました。

医療設備の充実では、今年の四月には、中濃厚生病院の増床整備工事が完了し、引き続き既設棟の改修整備を行い病床数が一一二床増床し四九五床となります。今回の増床事業に伴い救命救急センターの増床、化学治療室の拡充、専門性の高い呼吸器・消化器病センターの開設をはじめ、健康管理センター、保育所、災害時の備蓄倉庫の再整備を行います。また、他病院についても今後、耐震整備や高額医療機器等の施設設備の整備を積極的に行ってまいります。

医師不足等医療を取り巻く経営環境は、厳しいものがありますが、組合員並びに地域住民に信頼していただけますよう、地域医療機関との連携をさらに強化し、より充実した医療体制を目指して行く所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



院長 野坂 博行

新年明けましておめでとうございます。

昨年の師走には、争点のない衆議院総選挙が行われて自民党が圧勝しましたが、その道のゆくところ、いきつく先のビジョンは明かされていません。私達はアベノミクス効果に期待するしかないようです。政府の推し進めるTPP交渉・農協改革も、過疎地域（東濃地域）にとってプラスになるように、今後も注視していきたいと思っています。

病院を取り巻く医療環境も、人口減少・医師不足・消費税増税・国の財政赤字・診療報酬改定などにより、より厳しくなっています。そのような中で当病院に於いては、

昨年度は循環器内科の医師が三名増えて、治療の幅が広くなり多くの患者さんの要望に応えることが可能になりました。同時に、二次救急病院の公示日が年間で約五十日増えて二〇五日になり、より多くの瑞浪市民の期待に対応できるようになりました。また、行政の瑞浪市の協力のもと、瑞浪歯科医師会との連携協定も結び、入院患者さんや手術患者さんの口腔内の健康維持に、一段と介入できるようになりました。引き続き初期臨床研修医も在籍しており、ここ東濃地域に於いての地域医療のレベルアップと発展のために、職員一同努力しております。

今後も皆様に「愛され、親しまれ、そして信頼される病院」をめざし、チーム医療を充実させながら、急性期医療機関として質の高い医療を提供していきたいと考えます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。最後に皆様方のご健勝を心からお祈りいたします。

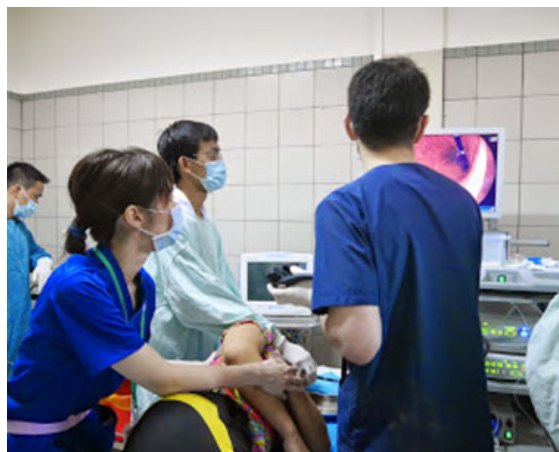
ベトナムバクマイ病院 内視鏡支援に参加して

内視鏡室 堀 淳子



平成二十六年九月七日
～十三日までの七日間、
ベトナムのバクマイ病院
にて内視鏡の医療支援に
参加してきました。

この内視鏡支援は名古屋大学消化器内科がベトナムの消化器内視鏡医の育成と病院の医療機器を整備することによって、ベトナムの消化器医療の強化を目的としたプロジェクトで、今回の派遣は七月二十九日に国立バクマイ病院内に「日本・ベトナム消化器内視鏡センター」が開設されたこと



を受け、その第一団としての派遣でありました。

名古屋大学の後藤教授のご指示のもと、名大附属病院、名大関連病院から医師六名、看護師四名、東濃厚生病院からは長屋医師と二人で参加させていただきました。

新設された内視鏡センターには、胃内視鏡・大腸内視鏡検査室が三室、超音波内視鏡検査室が一室、透視室が一室と検査室は合計五部屋ありました。

検査後の内視鏡の洗浄消毒は自動洗浄消毒装置もありましたが、内視鏡件数が多いことに対して内視鏡の本数が不足していることから、ほとんどが用手によって洗浄消毒が行われてました。



ベトナムの気候は、常に湿度が八十%以上であるにも関わらず物品を乾燥させておらず、日本の感染防止対策の基本である「ブラッシング」と「乾燥」という手順が省かれていました。

期間中にはナースカンファレンスを開催し、支援中に気付いた点や今後の支援へのバクマイ病院側の要望についても確認しました。

検査の前処置・鎮静剤使用方法、内視鏡の洗浄消毒方法、スタッフ教育について話し合い、日本の内視鏡センターの紹介や各スタッフにアドバイスしたことについての伝達を行いました。バクマイ病院看護師から日本の現状についての質問もありました。

バクマイ病院はベトナムの首都ハノイの主幹病院であり、病院全体、内視鏡センターにも患者が多く、患者層、医師、看護師も平均的に年齢層が若く活気で溢れていました。

内視鏡看護の面で言うと、医療安全、感染防止という面

での認識が低く感じられましたが、検査の流れのガイドラインや洗浄方法の手順書などは存在し、しっかりと管理されている印象を受けました。

この初回のバクマイ病院の支援として参加し、現地の看護師とともに検査に付き現状を把握するという目的は達成できたのではないかと感じています。

また、今回内視鏡に携わっている日本の他病院の看護師と一緒に過ごさせていただいたことで、現在の当院での内視鏡室の状況や自分自身の内視鏡に対する知識やあり方に関しても振り返ることができ、今後に繋がっていききたいととても有意義な一週間となりました。



市制60周年 「瑞浪市健康まつり」に参加！

地域保健課 楓 知世子

毎年瑞浪市が健康に関するPRとして開催する「瑞浪市健康まつり」が、平成二十六年十一月二十四日（月・祝）に行われ、今年も参加しました。

毎年開催されている「瑞浪市健康まつり」ですが、今年は市制六十周年と健康まつり四十周年の記念行事



として、瑞浪市内五か所にスタンプラリーを設置する等盛大に行われ、当院もスタンプラリー設置場所に指定され、例年は会場である瑞浪市文化センター内に設置する病院ブースを、全て病院に併設されている健康管理センターに設置しました。

各種相談コーナーをはじめ、血管年齢・肺年齢・骨密度等の検査に加え、肝機能・貧血の血液検査や、寝たきりの方の体位変換方法・オムツ交換方法・脳卒中予防指導・ロコモ診断とロコモ予防体操等、昨年を上回るブースの設置をし、多くの市民で賑わいました。

一番人気となったのは、「院内ミステリーツアー」！



病院の建物を利用した参加ということで、『職員以外が立ち入ることのできない場所をこの機会に市民の皆様に見て頂こう！』という趣旨で企画され、手術室





内・霊安室・給食室・病棟特別室・MRI操作室・検査科内・薬局内を1グループ七～八人として職員二名で案内し、検査室では顕微鏡での細胞観察等を用意しました。

普段は「病院が怖い」という子供さんご両親、おじいちゃん・おばあちゃんといったグループが次々に参加申し込みされ、総勢百十九名の方を案内しました。

ツアー終了後には、「面白かった」「怖かった」との子供の声に加え、「いい体験ができた」「病院の中が見えて安心した」との声も聞かれ、市民と病院との距離感が縮まったように思われ

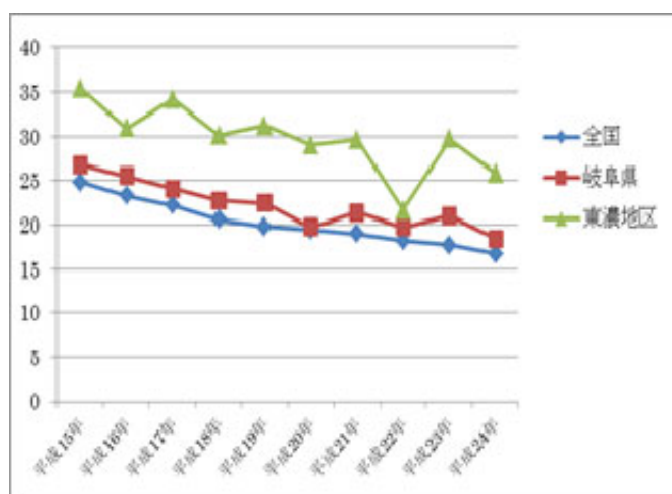
ます。

市民の方々の健康に対する意識は年々高まっており、病院としても地域に密着した行事としてこれからも参加を続けていきたいと思っています。

お詫び

すこやか89号の『結核について』の中のグラフに一部誤りがありましたので、お詫びして訂正致します。

《正》



JA岐阜厚生連 東濃厚生病院

外 来 診 療 表

平成27年1月1日

科名	月	火	水	木	金	備考	
第1・3・5週 第2・4週 初診 3診 4診 5診 6診 7診 8診 9診 10診 内科	伊藤和則 〔腎臓〕	宮本陽一 〔総合〕	野村翔子 〔消化器〕	西尾克彦 〔リウマチ〕	荒川直之 〔消化器〕	・血液内科 第2木 午後 ・内分泌科 第1月 午後 ・CAPD外来 毎週月 午後 ・フットケア外来 第3週、第4週木 9:00～16:00（予約制） ・睡眠時無呼吸外来 毎週木 13:00～15:00（予約制）	
	柴田尚宏 〔呼吸器〕	吉田正樹 〔消化器〕	浅野慎介 〔腎臓〕	長屋寿彦 〔消化器〕	澤崎貴子 〔腎臓〕		
		塚本英人 〔循環器〕	山田益丈 〔総合〕	加藤宏雄 〔循環器〕	朱宮孝紀 〔循環器〕		
	野坂博行 〔呼吸器〕	安藤 操 〔内分泌〕	吉田正樹 〔消化器〕	野坂博行 〔呼吸器〕	山瀬裕彦 〔消化器〕		
	吉田正樹 〔消化器〕	加藤敏夫 〔循環器〕	澤崎貴子 〔腎臓〕	加藤敏夫 〔循環器〕	安藤 操 〔内分泌〕		
	長屋寿彦 〔消化器〕	浅野慎介 〔腎臓〕	荒川直之 〔消化器〕	澤崎貴子 〔腎臓〕	浅野慎介 〔腎臓〕		
	朱宮孝紀 〔循環器〕	奥村健二 〔循環器〕	塚本英人 〔循環器〕	塚本英人 〔循環器〕	加藤宏雄 〔循環器〕		
	野村翔子 〔消化器〕				安藤 啓 〔呼吸器〕		
	西尾克彦 〔リウマチ〕	柴田尚宏 〔呼吸器〕	藤本正夫 〔消化器〕	藤本正夫 〔消化器〕			
	荒川直之（1・3・5） 伊藤和則（2・4）	長屋寿彦 〔消化器〕	伊藤和則 〔腎臓〕	柴田尚宏 〔呼吸器〕	宮本陽一 〔総合〕		
岩島康仁 〔呼吸器〕		宮本陽一（1・3・5） 野村翔子（2・4）	山田益丈 〔総合〕	西尾克彦 （1・3・5のみ）10:30			
内分泌科（第1午後）		山口 満 （午後）	血液内科（第2午後）				
神経内科	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司		
小児科	齋藤明子	下澤克宣	佐々木明	佐々木明	佐々木明		
外科	1診	野村公志	安藤修久	大池恵広	今澤正彦	安藤修久	・ストーマ外来 第1木・第3金・第4水 9:00～12:00（予約制） ・ヘルニア外来 毎週木 8:30～11:30
	2診	今澤正彦	内田大樹	大谷 聡	野村公志	大谷 聡	
脳神経外科			梶田泰一				
皮膚科	1診	稲垣克彦	稲垣克彦	稲垣克彦	秋山真志	松本高明	・午後診察 毎週火・木 14:30～16:30
	2診				稲垣克彦		
整形外科	1診	栗本秀（手の外科） （9:30～11:30）	佐藤 央	前川誠治	大間知孝顕	前川誠治	
	2診	前川誠治	大間知孝顕	大間知孝顕	佐藤 央	平石 孝	
	3診	平石 孝					
産婦人科	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝		
眼科	1診	石神裕子			金田正博	石神裕子	
	2診				天野喜仁		
耳鼻咽喉科	1診	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	・補聴器外来 毎週月・火 第2・3・4・5水 15:00～（予約制） ・嚥下外来 毎週木 14:30～15:30（予約制）
	2診	岩下利恵	野々山宏		小川徹也	岡本啓希	
				稲福 繁 （第4）			
泌尿器科	小出卓也	小出卓也	小出卓也	小出卓也	河田 啓		
人間ドック診察	第1.3.5	山瀬裕彦	西尾克彦	山瀬裕彦	山瀬裕彦	西尾克彦	
	第2.4				伊藤和則	加藤敏夫	

看護職員さん募集

東濃厚生病院では、広く看護職員を募集しています。現場から長期に離れた方でも大歓迎です。
ご自分の能力を患者さんのために役立ててみませんか。お待ちしております。

資格 保健師・看護師 年齢 不問

連絡先 東濃厚生病院 総務課及び看護部長室 TEL 0572-68-4111



受付時間
8:30~11:30
休 診 日
土曜・日曜・祝日
面会時間
13:00~20:00

東濃厚生病院
〒509-6101 瑞浪市土岐町76番地1
TEL 0572-68-4111
FAX 0572-68-8934

健康管理センター(人間ドック)
TEL 0572-68-4426
FAX 0572-68-9458
訪問看護ステーション あゆみ
TEL 0572-68-8625
FAX 0572-68-8625